

経営比較分析表（令和3年度決算）

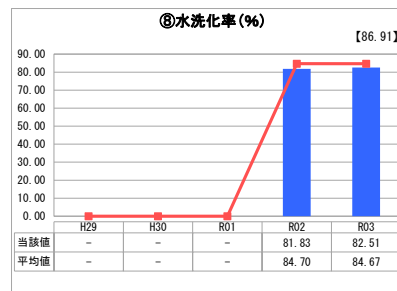
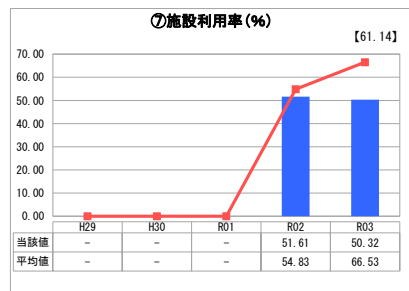
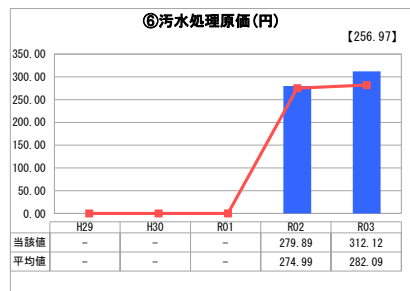
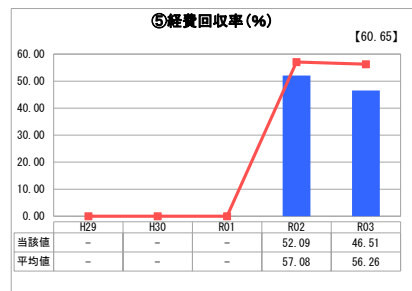
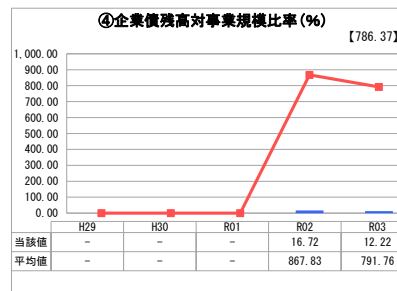
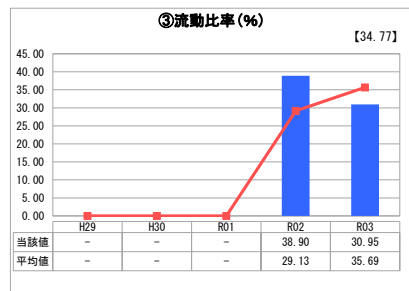
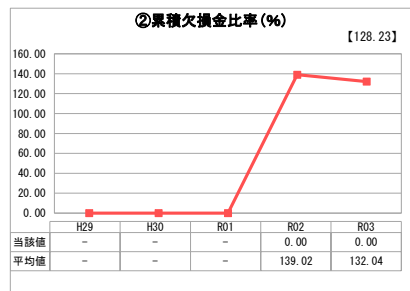
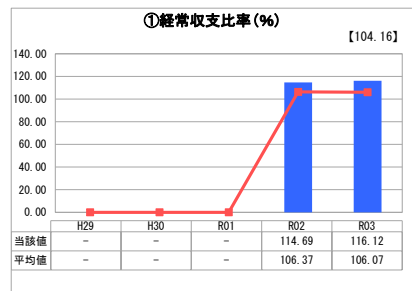
佐賀県 小城市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	62.38	5.71	78.48	3,020

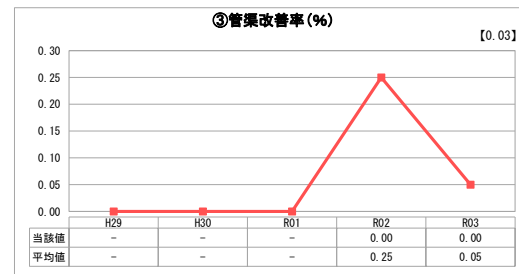
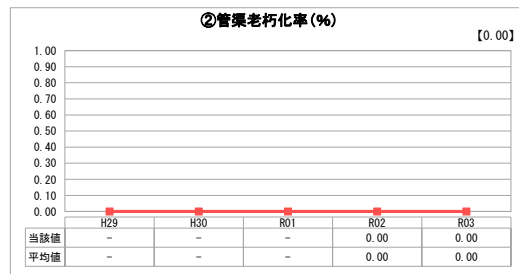
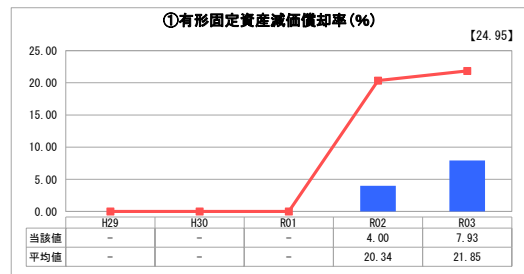
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
44,639	95.81	465.91
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,545	1.41	1,804.96

グラブ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当市の農業集落排水について、①経常収支比率は、企業会計適用以降100%以上となっているが、使用料以外の収入（他会計補助金）に依存しているため、使用料の見直しを含めた経営改善を図っていく必要がある。

②流動比率は、使用件数の減少による使用料収入の減少により低下している。

③企業債残高対事業規模比率は、類似団体と比較して非常に低い状態にあり、起債の償還により起債現在高が減少したため、前年度より減少している。

④経費回収率は、使用件数の減少により使用料収入が減少し、動力費や修繕費などの汚水処理費が増加したため前年度より低下し、類似団体より低い状態となっている。

⑤汚水処理原価は、動力費や修繕費などの汚水処理費が増加したため、類似団体より高く、使用件数の減少による有収水量減のため、前年度より高くなっている。

⑥施設利用率は、使用件数の減少により処理水量が減少したため前年度より低下している。

⑦水洗化率は、共同住宅等の接続により接続件数が増加したため、前年度より高くなっている。しかし、農村部の高齢化や経済的な理由による未接続件数が多く、類似団体より低くなっているため、今後は統廃合を含めた検討を行っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体に比べ公営企業法適用が遅かったため、減価償却累計額が少なく、類似団体よりも低くなっている。

②③農業集落排水の供用開始は平成13年3月27日以降であり、下水道管に法定耐用年数を超えたものはない状況である。

しかし、農業集落排水の3処理区の内、2処理区については整備から15年以上経過しているため、施設の機能強化を行っている。

全体総括

農業集落排水事業においては、「小城市下水道事業経営戦略」を策定し、将来に渡って安定的に事業を継続していくこととしているが、策定から5年が経ったため、令和4年度に改定を予定している。

維持管理及び施設の老朽化・耐震化対策については、平成22年度に最適整備構想を策定し、平成27年度より更新工事を随時進めている。

今後は、人口減少による使用料収入の減少が予想されるため、長寿命化計画や経営戦略に基づき、施設の長寿命化を行い、更なる経費削減に努め、合理的な事業運営を推進していくことが必要である。

また、接続率の低さが課題となっているため、引き続き個別訪問や広報・PR活動により水洗化率の向上を図る必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。